

製品名: PKC θ /PRKCQ ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87396**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:82 kDa; Observed MW:79 kDa

抗原情報

遺伝子名	PKC theta/PRKCQ
別名	PRKCT; nPKC-theta
遺伝子 ID	5588
SwissProt ID	Q04759
免疫原	ヒト PKC θ /PRKCQ の合成ペプチド

背景

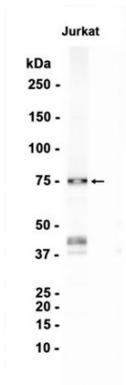
プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムおよびセカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロールによって活性化される、セ

リンおよびスレオニン特異的なプロテインキナーゼファミリーです。PKCファミリーメンバーは、多様なタンパク質標的をリン酸化することで、多様な細胞シグナル伝達経路に関与することが知られています。また、PKCファミリーメンバーは、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの主要受容体としても機能します。PKCファミリーの各メンバーはそれぞれ特異的な発現プロファイルを持ち、それぞれ異なる役割を果たすと考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKCファミリーメンバーの1つです。これはカルシウム非依存性かつリン脂質依存性のプロテインキナーゼです。このキナーゼは T細胞の活性化に重要です。転写因子 NF- κ B および AP-1 の活性化に必須であり、T細胞受容体 (TCR) シグナル伝達複合体と転写因子の活性化を結びつけている可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



PKC θ /PRKCQ ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。